

当初予算の主な取組 単位：万円

<b>&lt;育ちと学びを支えるまちづくり&gt;</b>		
新	東温スポーツフィールドの運営	672
新	公共施設予約システムの更新	931
継	出産世帯への応援支援	6,663
継	学校施設の大規模改修	5億 5,714
<b>&lt;安全・安心が守られるまちづくり&gt;</b>		
新	県総合防災訓練の開催	1,086
新	学校施設の防犯カメラ整備	255
新	はしご車オーバーホール	4,402
継	指定避難所の整備	1,665
<b>&lt;誰もが健やかに暮らせるまちづくり&gt;</b>		
新	RS ウイルスワクチン等接種補助	120
継	健康アプリポイントの運営	65
<b>&lt;にぎわいと活力を育むまちづくり&gt;</b>		
新	ひめの凜優良種子等供給体制の強化	469
継	とうおんスマートヘルスケア創出	914
継	工業団地の整備	14億 9,780
<b>&lt;快適に住み続けられるまちづくり&gt;</b>		
新	公共下水道計画の策定	1,100
継	クリーンセンターの解体撤去	4億 8,185
継	公園の整備	6億 9,969
<b>&lt;心豊かにつながり合うまちづくり&gt;</b>		
新	男女共同参画計画の策定	494
継	社会を明るくする運動	79
<b>&lt;みんなで進める"オール東温"のまちづくり&gt;</b>		
継	ワンストップ窓口サービスの提供	835
継	地域おこし協力隊の導入	2,644
<b>&lt;人のつながりで未来を拓くまちづくり&gt;</b>		
継	移住定住の促進	2,105

新…新規事業 継…継続事業（前年度事業に対して）

図2

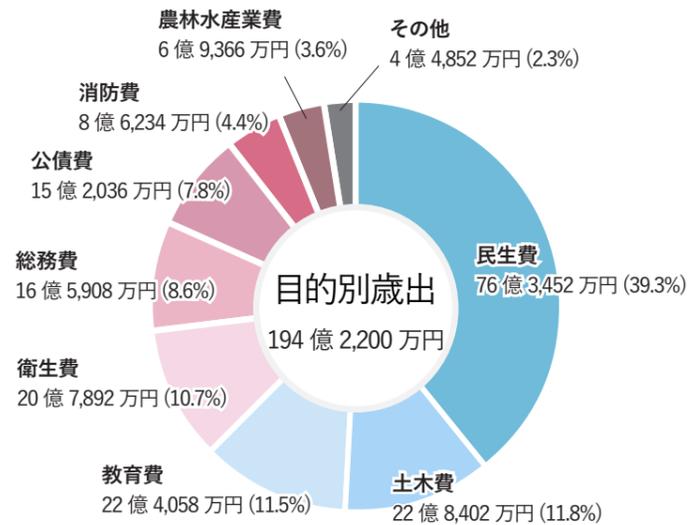


図3

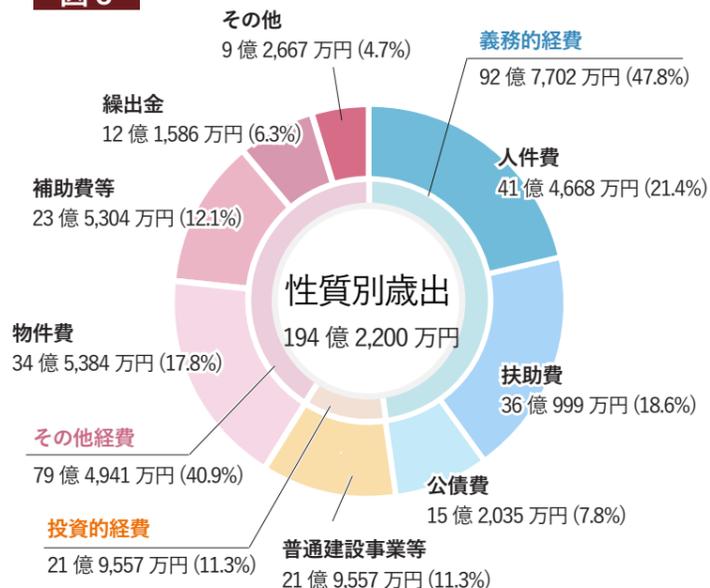
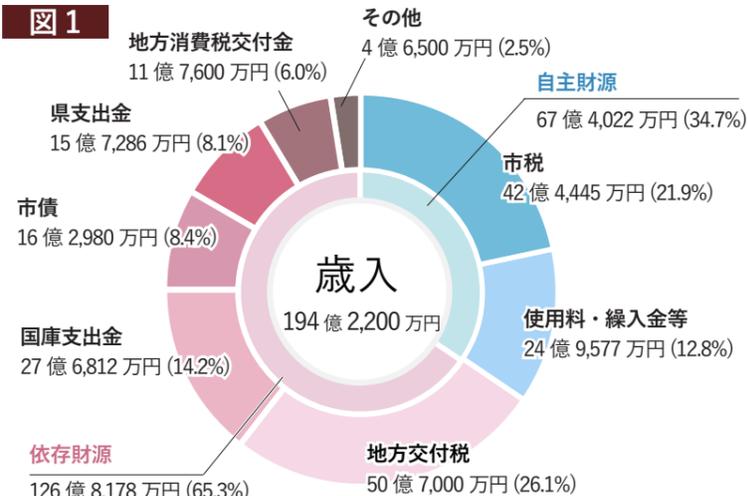


図1



一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額

会計名称	本年度	対前年度増減率
一般会計	194億2,200万円	△8.7%
特別会計		
国民健康保険	34億1,500万円	△1.4%
後期高齢者医療	7億4,150万円	22.8%
介護保険	43億9,840万円	1.2%
吉久工業団地	14億2,500万円	226.5%
小計	99億7,990万円	12.8%
企業会計		
水道事業	20億8,416万円	15.4%
下水道事業	18億1,653万円	6.3%
小計	39億69万円	11.0%
合計	333億259万円	△1.0%

歳入は自主財源が34・7%  
歳入(図1)は、市税や使用料など、市が自主的に収入できる自主財源が34・7%、地方交付税や国庫支出金など、国や県の基準等に基づき交付される依存財源が65・3%となっています。依存財源は、地方交付税が全歳入の26・1%で50億7,000万円、国庫支出金は14・2%で27億6,812万円を見込んでいます。

歳出は投資的経費が大幅減  
歳出を目的別(7頁図2)に見ると、児童福祉や障がい者

福祉など、福祉全般の経費である民生費が、全体の39・3%を占めています。なお、道路や公園などの整備、維持管理に要する経費である土木費が前年度と比べ12億6,901万円(35・7%)減となっています。また、性質別(7頁図3)に見ると、市内3小学校への飲料水兼用耐震性貯水槽設置工事の完了などにより、投資的経費が前年度と比べ24億1,293万円(52・4%)減となっています。また、扶助費は、障害福祉サービス費の増加などにより、2億9,466万円(8・9%)増となっています。

# 令和8年度 当初予算

一般会計予算の総額は、避難所整備強化事業や道路改良事業などの普通建設事業費の減少により、194億2,200万円、対前年度比8・7%減となりました。特別会計予算は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び吉久工業団地の4会計、総額で99億7,990万円です。企業会計予算は、水道事業、下水道事業合わせて、39億69万円です。

一般会計  
**194億2,200万円**

用語解説  
～どんな意味？～

- 一般会計**…高齢者福祉や児童福祉、保健衛生、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたもの。
- 特別会計**…一般会計と切り離して特定の事業ごとに経理する予算。保険税や保険料など特定の収入で事業を実施する。
- 自主財源**…市税や使用料など、市が自主的に収入する財源
- 依存財源**…国や県の基準に基づき交付される財源。主に地方交付税や国庫支出金がある。
- 地方交付税**…全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう国から交付される。
- 市債**…市が国や金融機関などから借り入れる資金
- 公債費**…市債を返済するための経費
- 投資的経費**…学校や道路など公共施設の整備や改修に要する経費
- 扶助費**…福祉や医療のため個人に支出する経費
- アセットマネジメント**…将来にわたって事業の経営を安定的に継続するための長期的視野に立った計画的資産管理

特別会計の合計は、前年度と比べ11億3,010万円(12・8%)増となっています。各会計について、後期高齢者医療は、保険料の広域連合納付金の増加などにより1億3,770万円(22・8%)増、介護保険は、居宅介護サービス給付費の増加などにより5,280万円(1・2%)増、吉久工業団地は、借入金の満期一括償還などにより9億8,860万円(22・6・5%)増となっています。また、国民健康保険は、療養給付費の減少などにより4,900万円(1・4%)減となっています。

次に、企業会計の合計は、前年度と比べ3億8,618万円(11%)増となっています。水道事業会計は、アセットマネジメントに基づく水道施設更新工事などにより、2億7,875万円(15・4%)増、下水道事業会計は、下水道施設の脱炭素化などにより、1億743万円(6・3%)増となっています。